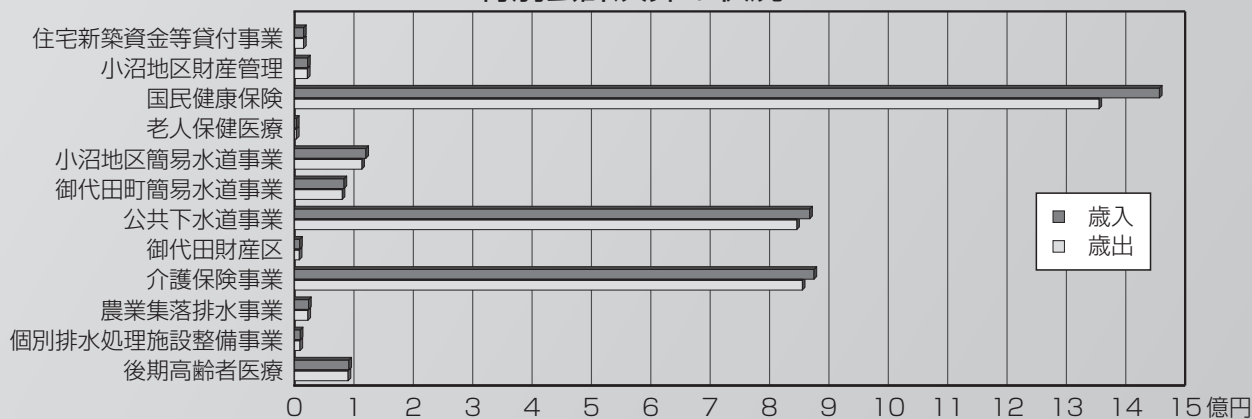


特別会計

単位:万円

会計名	歳入 36億3,160万円			歳出 34億7,075万円		
	決算額	前年度	対前年度比	決算額	前年度	対前年度比
住宅新築資金等貸付事業	2,095	1,824	14.9%	2,092	1,823	14.8%
小沼地区財産管理	2,682	370	624.9%	2,636	342	670.8%
国民健康保険	146,188	143,728	1.7%	135,926	137,581	△ 1.2%
老人保健医療	37	581	△ 93.6%	35	580	△ 94.0%
小沼地区簡易水道事業	12,366	13,502	△ 8.4%	11,846	13,093	△ 9.5%
御代田町簡易水道事業	8,770	9,737	△ 9.9%	8,276	9,428	△ 12.2%
公共下水道事業	87,277	87,608	△ 0.4%	85,608	86,926	△ 1.5%
御代田財産区	1,314	1,405	△ 6.5%	1,243	1,349	△ 7.9%
介護保険事業	88,871	89,141	△ 0.3%	86,405	87,486	△ 1.2%
農業集落排水事業	2,892	2,686	7.7%	2,666	2,579	3.4%
個別排水処理施設整備事業	1,267	1,173	8.0%	1,158	1,122	3.2%
後期高齢者医療	9,401	9,144	2.8%	9,184	9,015	1.9%
合計	363,160	360,899	0.6%	347,075	351,324	△ 1.2%

特別会計決算の状況



万円、21.4%の増となりました。
土木費は、まちづくり交付金事業の事業量の増加などにより、3、442万円、3.9%の増となりました。減少した費目では、公債費が、過去に借り入れた起債の一部を21年度中に繰上償還したことなどにより、5億2,862万円、39.8%の減となりました。

総務費は、定額給付金の終了などにより、6,236万円、6.5%の減となりました。

商工費は、プレミアム商品券の実施が終了したことなどにより、557万円、5.2%の減となりました。

【特別会計】

特別会計は12会計で、それぞれ目的に沿った事業を推進しました。

このうち、小沼地区財産管理特別会計は、地域介護福祉空間整備等事業の地元負担分への補助が増えたことにより、670.8%の歳出増となりました。

御代田町簡易水道事業特別会計は、配水管の敷設替工事の減などにより、12.2%の歳出減となりました。

問い合わせ先

企画財政課財政係(内線52・54)

起 債

平成22年度起債残高(普通会計) 60億8,669万円

※普通会計＝一般会計＋住宅新築資金等貸付事業特別会計＋小沼地区財産管理特別会計

借入先内訳

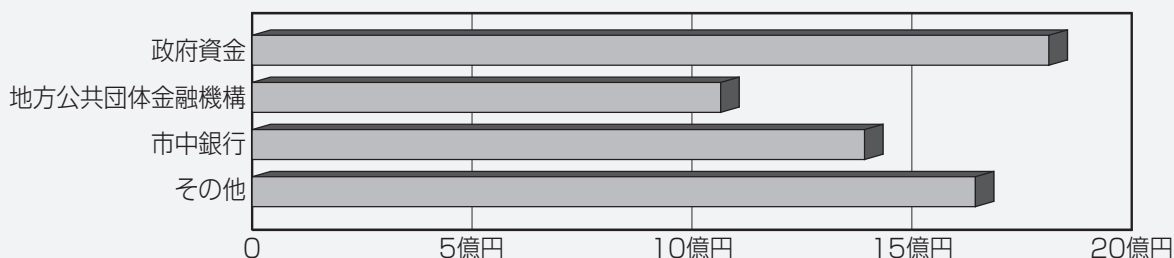
単位:万円

借入先	金額
政府資金	186,148
地方公共団体金融機構	110,361
市中銀行	143,463
その他	168,697
合計	608,669

平成22年度起債事業

単位:万円

事業名	起債額
臨時財政対策	40,260
学校教育施設等整備事業	36,200
施設整備事業(一般財源化分)	540
まちづくり交付金事業	46,770
地方道路等整備事業	2,240
農業用施設改修事業	740



健全化判断比率

単位:%

実質赤字比率	連結実質赤字比率	実質公債費比率	将来負担比率
-	-	8.2	-

※数値は暫定値のため、変更となることがあります。

資金不足比率

単位:%

特別会計の名称	資金不足比率
御代田町公共下水道事業特別会計	-
御代田町農業集落排水事業特別会計	-
御代田町個別排水処理施設整備事業特別会計	-
小沼地区簡易水道事業特別会計	-
御代田町簡易水道事業特別会計	-

【健全化判断比率等】

① 実質赤字比率

普通会計(一般会計、住宅新築資金特別会計、小沼地区財産管理特別会計)の収支であり、黒字となっているため数値なしとなりました。

② 連結実質赤字比率

特別会計を含めた全会計の収支であり、すべての収支が黒字のため数値なしとなりました。

③ 実質公債費比率

一般会計が負担する、借金返済額の割合で、公債費や公債費へ充当された負担金などから算定し、平成20年度から平成22年度の3か年の平均で8.2%となりました。

④ 将来負担比率

一般会計が将来負担すべき実質的

な負債の比率で、全体の負債、第三セクターや土地開発公社などを含めた負債の重さを示すものですが、当町は第三セクターへの負担がないことや基金残高が多いことなどで数値なしとなりました。

⑤ 資金不足比率

各指標とあわせて、公営企業会計における資金の不足額を算出するものです。各会計で資金の不足額が生じていないため、数値なしとなっています。

各指標において、「早期健全化」と「財政再生」の二つの基準が設けられており、基準を超えると健全化に向けた対応が必要となります。

御代田町は各指標において基準を下回っているため、健全な財政状況となっております。